

第2編 石巻広域消防50年のあゆみ

■ 昭和編



消防本部（石巻消防署併設） 石巻市双葉町（昭和50年頃）

・・・石巻広域消防発足までの経過・・・

昭和44年8月1日 石巻地域1市9町は、自治省の広域市町村圏に設定された。

昭和45年4月8日 石巻地区広域消防を昭和46年度に盛り込んだ「石巻地区広域市町村圏計画」を石巻地域広域都市建設協議会で承認され、4月20日県知事の承認を得て、4月30日自治省に提出された

10月24日 石巻地区広域行政事務組合の共同処理する事務(既に伝染病、衛生センター、養護老人ホーム、交通災害共済を共同処理している。)に消防を加えることについて1市9町首長会議で承認された

12月10日 共同処理する事務に消防を加えることの組合規約変更を県知事に申請

12月18日 上記について県知事より許可

昭和46年(1971年) 火災件数146件、救急出動件数777件

4月 1日 石巻地区広域行政事務組合消防本部発足

組織市町は1市9町

(石巻市、河北町、雄勝町、矢本町、河南町、桃生町、鳴瀬町、北上町、女川町、牡鹿町)

2署3分署2出張所により業務開始(消防職員123人) 条例定数188人

(石巻消防署、矢本消防署、中央分署、河北分署、女川分署、渡波出張所、牡鹿出張所)

石巻消防署に専任、石巻消防署女川分署に兼任の救急隊を設置する

4月 1日 初代消防長に前石巻市消防長 芳賀小次郎 氏 就任

- ・ 消防庁舎は、昭和46年度において建設するよう努めるものとし、既存の消防庁舎は事務組合に無償譲渡とし、用地は無償貸与とする。
- ・ 消防車両の整備は、昭和46年度、昭和47年度の2カ年で重点的に整備し、以後各年にわたり改善充実を図った。

6月 1日 石巻地区広域消防は、政令170号により政令指定された

12月20日 石巻消防署牡鹿出張所庁舎改築

12月24日 昭和46年度当初において、通信施設の整備拡充に努め有線電話及び無線電話を系統的に消防機関、車両、各市町村役場に配備し、有線施設の運用を開始した

牡鹿コバルトライン全面開通

昭和46年の主な災害(国内)

4月27日 広島県呉市林野火災 消防職員17名殉職
管内の主な火災、災害

4月 7日 桃生町永井建物火災(5棟焼損)

4月19日 石巻市塩富町建物火災(10棟焼損)

6月23日 河北町福地建物火災(5棟焼損)

昭和47年(1972年) 火災147件、救急出動件数878件

1月 1日 広域消防業務の円滑なる運営と組織市町との連絡整備を図るため消防参与制度を設け、組織市町の消防団長10名をもって構成発足した

3月 1日 消防無線施設の運用を開始した

4月 1日 条例定数改正(197人)

5月 1日 石巻消防署雄勝出張所の庁舎を新築し開設した

6月10日 石巻消防署河北分署の庁舎を移転新築した

7月12日 石巻消防署湊出張所庁舎を新築し開設した

12月11日 石巻消防署河北分署北上派出所庁舎を新築し開設した

12月17日 石巻消防署河北分署桃生派出所庁舎を新築し開設した

石巻バイパス全面開通

昭和47年の主な災害(国内)

2月25日 大阪市千日デパートビル火災 死者118人

3月19日 富士山大量遭難事故 死者行方不明24人

6月6日~7月13日 昭和47年7月豪雨 全国で死者行方不明447人

9月16日 台風第20号により東海地方で死者85人

11月6日 北陸トンネル火災事故 死者30人

主な火災、災害(管内)

1月 4日 石巻市沢田建物火災(5棟焼損)

1月15日 石巻市住吉町建物火災(7棟焼損)

5月15日 石巻市穀町建物火災(14棟焼損)



昭和48年(1973年) 火災172件、救急出動件数1,223件

1月14日 広域消防相互応援協定締結。(塩釜地区、大崎地域、登米地域、気仙沼本吉地域)

3月20日 矢本消防署庁舎を移転新築した

4月1日 矢本消防署に救急隊(兼務隊)を設置した

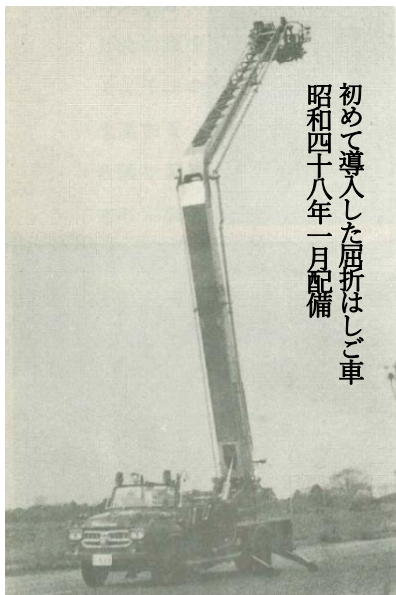
6月15日 石巻消防署渡波出張所庁舎を新築した

7月14日 第2次石巻地区広域消防実施基本計画を策定した

11月2日 第2代消防長に 遠藤 稔 氏 就任

牧山有料トンネル開通

飯野川橋架け替え開通



初めて導入した屈折はしご車
昭和四十八年一月配備

昭和48年の主な災害(国内)
11月29日 熊本市大洋デパート火災 死者10人
主な火災、災害(管内)
1月27日 矢本町矢本建物火災(死者1人、5棟焼損)
2月12日 河南町北村建物火災(死者3人)
3月21日 石巻市大門町建物火災(10棟焼損)



石巻消防署渡波出張所



矢本消防署

昭和49年(1974年) 火災141件、救急出動件数1,403件

4月1日 石巻消防署に特別消防隊を配置する

4月1日 石巻消防署河北分署、石巻消防署牡鹿出張所に救急隊を設置する(兼務隊)

4月1日 条例定数改正(211人)

4月11日 石巻消防署河南派出所庁舎を新築し開設した

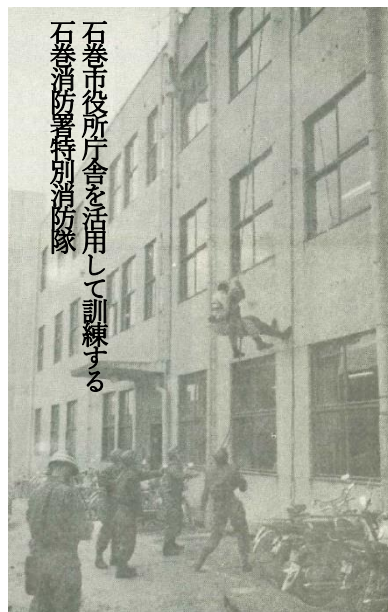
5月1日 消防本部予防課に婦人消防指導員を配置した

9月18日 消防本部に隣接する旧横浜植物防疫所石巻出張所及び会議室を譲り受ける(85.1㎡)

昭和49年の主な災害(国内)
5月9日 伊豆半島沖地震(M6.9 死者30人)
7月7日 セタ豪雨(台風第8号)により
静岡県などで死者145人
11月29日 東京湾LPGタンカー火災 死者33人



石巻消防署河南派出所



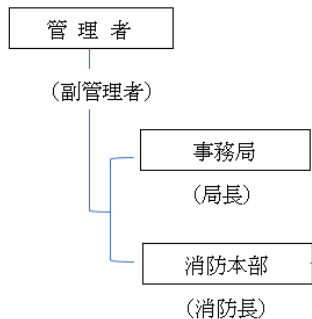
石巻市役所庁舎を活用して訓練する
石巻消防署特別消防隊

昭和50年(1975年) 火災141件、救急出動件数1,725件

4月 1日 矢本消防署鳴瀬派出所庁舎を新築し開設した

4月 1日 条例定数改正(220人)

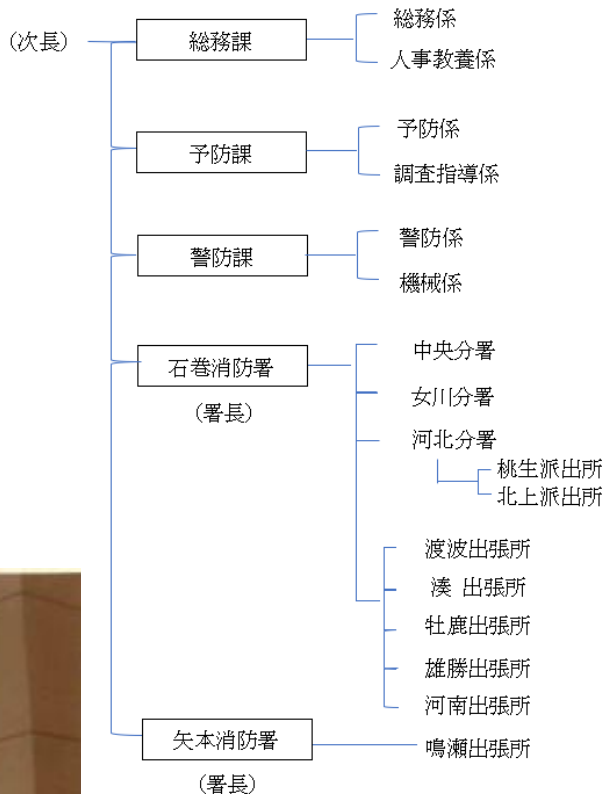
昭和50年の組織図



石巻消防署牡鹿出張所



矢本消防署鳴瀬派出所

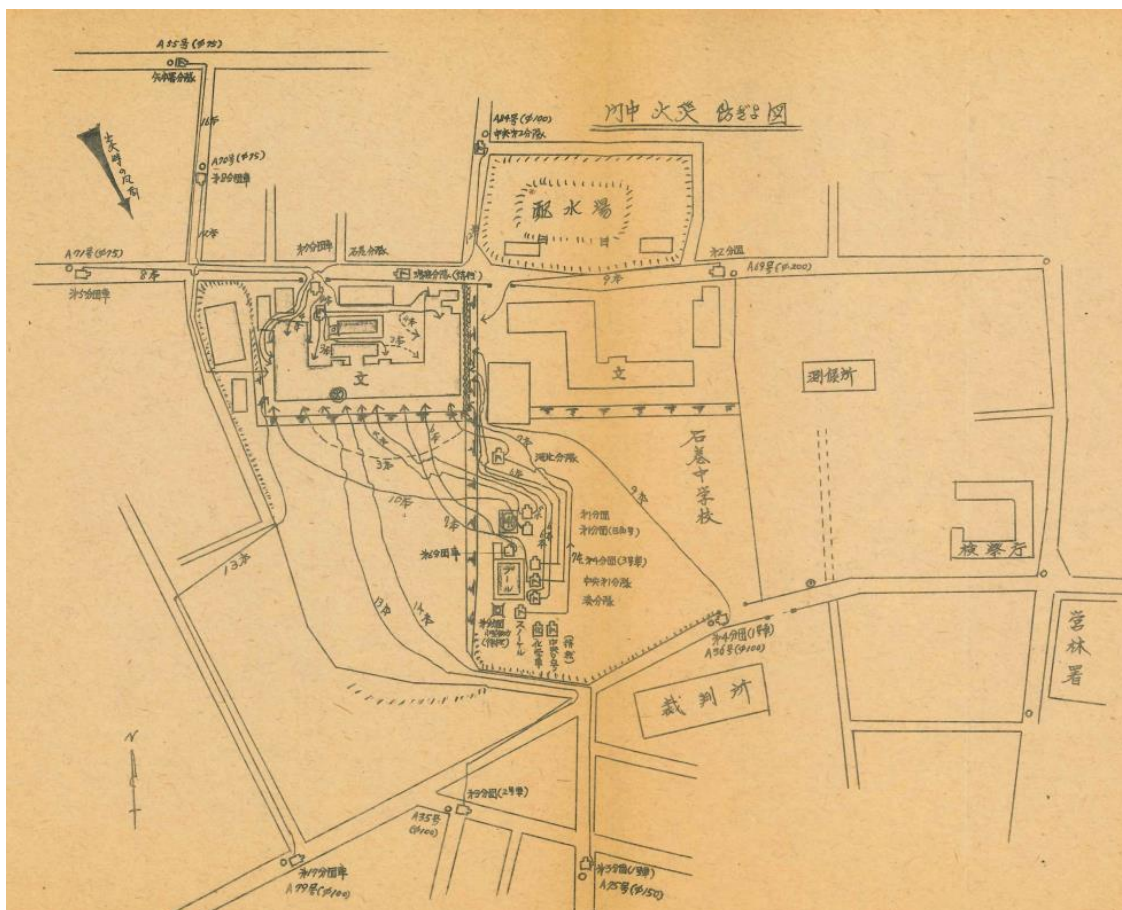


昭和50年の主な災害(全国)
 8月23日~24日 台風第6号により徳島県などで死者33人
 昭和50年の主な災害(管内)
 1月30日 石巻市湊町建物火災(13棟焼損)
 4月 5日 石巻市湊町建物火災(14棟焼損)
 4月 7日 石巻市川口町建物火災(11棟焼損)
 5月24日 石巻市立住吉小学校火災(639㎡焼損)
 10月30日 北上町十三浜建物火災(5棟焼損)

昭和51年（1976年） 火災155件、救急出動件数1,844件

新北上大橋開通

昭和51年の主な災害（全国）
 10月29日 酒田大火 1,774棟焼損
 昭和51年の主な災害（管内）
 2月 1日 石巻市立門脇中学校火災（3,249㎡焼損）
 3月17日 女川町鷲神浜建物火災（6棟焼損）
 12月25日 矢本町矢本建物火災（6棟焼損）



昭和51年3月消防本部作成「石巻市立門脇中学校火災の概要」より

出火場所 石巻市泉町四丁目 石巻市立門脇中学校校舎
 収容人員 学校長以下879人（在籍生徒842人）
 出火日時 昭和51年2月1日（日）05時41分（119番）（06時55分鎮火）
 気象状況 天候：快晴 気温：-5.8度 風向：北北西 風速：2.2メートル
 異常乾燥注意報発表中
 死傷者 なし
 出動 05時52分第2出動、06時00分第3出動
 出動人員 消防署員100名（当番41名、非番59名）、消防団員298名
 出動車両 消防署ポンプ車等12台、消防団ポンプ車等14台 放水口数25口
 焼損程度 校舎及び倉庫全焼 3,289㎡ 体育館等部分消62㎡

昭和52年(1977年) 火災123件、救急出動件数1,985件

4月1日 組合事務を円滑に行うため、総務幹事会を設置する

5月24日 大興水産株式会社より消防車1台寄付受納 石巻消防署湊出張所に配備

10月1日 第3代消防長に 太田廉平氏 就任

昭和52年の主な災害(全国)

3月25日 北九州市林野火災 消防職員5名殉職

昭和52年の主な災害(管内)

12月12日 石巻市羽黒町建物火災(6棟焼損)

昭和53年(1978年) 火災173件、救急出動件数2,001件

6月12日 宮城県沖地震 M7.4 最大震度5 矢本町で死者1人

昭和53年の主な災害(全国)

1月14日 伊豆大島近海地震 M7.0 死者25人

3月9日 新潟市建物(スナック)火災 死者11人

6月12日 宮城県沖地震 県内で死者28人

昭和53年の主な災害(管内)

3月9日 石巻市住吉町建物火災(死者1人、8棟焼損)

4月8日 石巻市湊町建物火災(5棟焼損)

4月21日 桃生町高須賀建物火災(13棟焼損)

5月15日 石巻市向陽町建物火災(5棟焼損)

12月27日 北上町長尾建物火災(7棟焼損)



国道のり牧野第8号(岸)に52



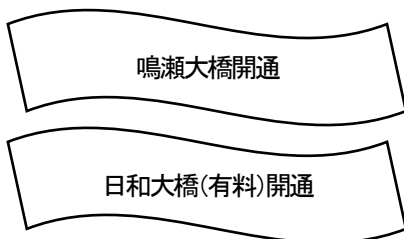
宮城県沖地震による被害調査表

昭和53年6月23日現在

署所名	石巻	中央	湊	渡波	雄勝	河北	北上	桃生	矢本	鳴瀬	河南	女川	牡鹿	計
住家		5	3	(11)		2			4	9	4			27
半壊	2	1	4	(9)		11		18	41	36	12			127
小壊	12	21	7	5	16	59	34	2	603	49	67	37	718	1,624
非住家		1	5	(6)	2	3		12	5	14	6	2	1	51
半壊		16	4	(20)		10		10	14	10	9		9	82
小壊	2	9	2	1	2	27	4	3	234	19	26		20	350
塙(ブロック)倒壊	49	37	6	7	14	41		35	172	116	181	24	239	721
カヌー孔	2	7	3	1									1	14
崖崩れ			2	(12)		1	15		13	1		20		52
道路(電線)陥没	1	2	4	(7)		7	11		22			1	11	59
船舶被害												2	3	5
漁港施設											15	5		20
死者									1					1
負傷者	1	1	1	(9)		2	2	2	44	2	1		2	56
橋の破壊		1		(12)			5		4	1	1			13
火災発生						1								1

昭和54年(1979年) 火災166件、救急出動件数2,092件

9月1日 石巻広域消防音楽隊(隊長以下29名)発足



昭和54年の主な災害(全国)

3月20日 建設中の上越新幹線大清水トンネル火災
死者16人

10月19日 台風第20号により北海道などで死者115人

昭和54年の主な災害(管内)

1月12日 矢本町矢本建物火災(5棟焼損)

8月14日 石巻市門脇町建物火災(12棟焼損)

12月19日 石巻市蛇田建物火災(5棟焼損)

昭和55年(1980年) 火災130件、救急出動件数2,270件

12月28日 石巻消防署牡鹿出張所庁舎を新築し移転する

昭和55年の主な災害(全国)

8月14日 富士山落石事故 死者12人

8月16日 静岡駅前ゴールデン街ガス爆発火災 死者15人

11月20日 静岡県川治プリンスホテル火災 死者45人



昭和55年7月20日海の記念日 音楽隊出演(石巻市立町)

昭和56年(1981年) 火災140件、救急出動件数2,237件

2月10日 組合消防の機構改善に関し、専門委員会(桃生牡鹿町村会事務局長及び組織市町総務担当課長)を設置する

3月25日 石巻ガス株式会社とガス漏れによる事故防止対策に関する協定を締結

4月1日 第4代消防長に 小野静雄氏 就任

7月2日 組合消防の機構改善に関する専門委員会から答申を受ける

12月4日 社団法人日本自動車工業会より救急自動車1台寄付受納

昭和56年の主な災害(全国)

10月16日 北炭夕張新炭鉱ガス突出事故 死者93人

昭和56年の主な災害(管内)

3月24日 石巻市穀町建物火災(7棟焼損)

4月3日 河南町須江建物火災(5棟焼損)

9月8日 石巻市穀町建物火災(12棟焼損)

9月18日 牡鹿町立鮎川中学校体育館火災

昭和57年（1982年） 火災149件、救急出動件数2,341件

4月 1日 組合消防を機構改善する

消防本部を3課9係とし、新たに課長補佐を設ける

消防署を石巻、河北、矢本、女川の4署体制とし、派出所を出張所に格上げする

（4署1分署8出張所）

4月30日 ライオンズクラブ国際協会より救急車1台（ライオンズ号）寄付受納

10月18日 財団法人日本消防協会より救急自動車1台、緊急給水用ろ過器1基寄付受納



昭和57年の主な災害（全国）

2月 8日 東京都千代田区ホテルニュージャパン火災

死者32人

7月23日 長崎大豪雨

長崎県などで死者行方不明者299人

9月12日 台風第18号により静岡県などで死者38人

昭和57年の主な災害（管内）

2月 8日 雄勝町水浜建物火災（9棟焼損）

4月 8日 雄勝町水浜建物火災（死者1人、5棟焼損）

4月24日 石巻市湊町建物火災（8棟焼損）

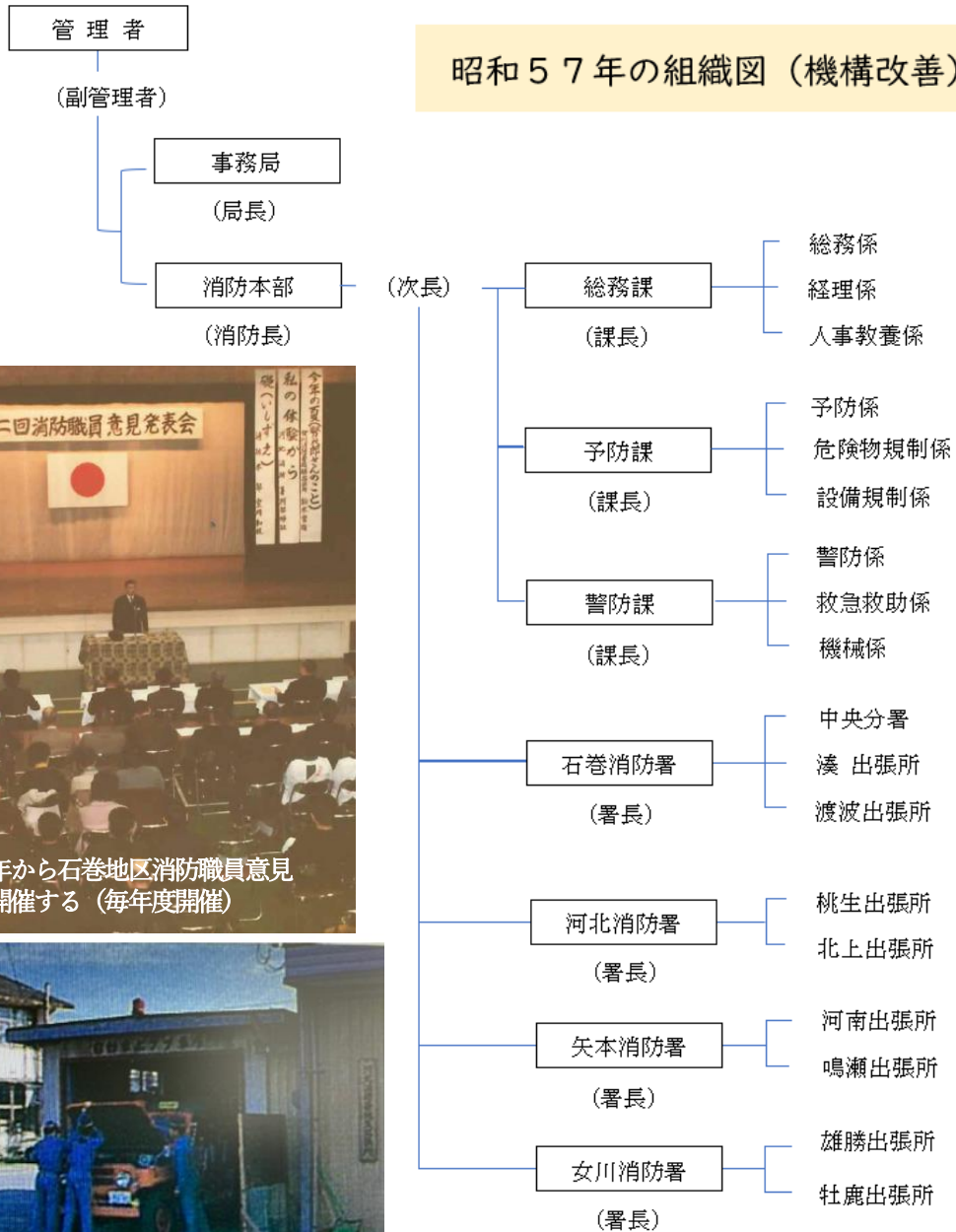


石巻消防署中央分署車庫前にて



女川消防署

昭和57年の組織図（機構改善）



昭和58年から石巻地区消防職員意見発表会を開催する（毎年度開催）



河北消防署桃生出張所

昭和58年（1983年） 火災136件、救急出動件数2,417件

- 2月 9日 株式会社魚長より救急車1台（長生号）寄付受納
- 4月 1日 第5代消防長に 阿部信男 氏 就任
- 4月 1日 消防本部次長を専任制とする

昭和58年の主な災害（全国）

- 2月21日 山形県蔵王温泉観光ホテル火災 死者11人
- 5月26日 日本海中部地震（M7.7）死者104人
- 7月22日～23日 7月豪雨により島根県などで死者109人
- 9月28日 台風第10号により岐阜県などで死者行方不明者44人

昭和58年の主な災害（管内）

- 10月25日 石巻市千石町建物火災（6棟焼損）

昭和59年（1984年） 火災138件、救急出動件数2,378件

6月8日 南光運輸株式会社から地震体験装置1台を寄付受納



(6.1)東北電力女川原子力発電所1号機運転開始

昭和59年の主な災害（全国）

1月18日 三井三池有明鉱構内火災事故 死者83人

9月14日 長野県西部地震（M6.8） 死者29人

昭和59年の主な災害（管内）

2月5日 女川町鷲神浜建物火災（9棟焼損）

石巻消防署の交替風景



昭和60年（1985年） 火災134件、救急出動件数2,396件

11月5日 社団法人日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台寄付受納

12月24日 石広消厚生会から各署所にテレビ14台寄付受納

昭和60年の主な災害（全国）

7月26日 長野県地附山地滑り 死者26人

8月12日 日航ジャンボ機墜落事故（群馬県御巣鷹山） 死者520人



昭和61年(1986年) 火災169件、救急出動件数2,559件

3月31日 石巻市住吉公園の望楼(住吉望楼)を石巻市に返還する

4月1日 消防無線新方式により運用開始(不感地帯解消工事)

10月4日 住吉望楼お別れ式を挙



(4.28)ソ連チェルノブイリ原子力発電所事故

昭和61年の主な災害(全国)

2月11日 静岡県熱川温泉ホテル大東館火災
死者24人

8月5日 台風第10号の影響による8.5水害
福島県などで死者行方不明者20人

3月 釜谷トンネル開通

昭和61年3月 季節外れの大雪の中、釜谷トンネル開通式に消防音楽隊がパレード出演



昭和62年(1987年) 火災147件、救急出動件数2,714件

4月1日 第6代消防長に 笈原正氏 就任

12月1日 有限会社ホシノ地所から救急自動車1台分(星賢号)購入資金寄付受納

昭和62年の主な災害(全国)

6月6日 東村山市特別養護老人ホーム「松寿園」火災 死者17人

昭和62年の主な災害(管内)

1月11日 石巻市魚町建物火災(5棟焼損)

2月26日 石巻市大瓜建物火災(6棟焼損)

4月21日 石巻市門脇字三軒屋建物火災(5棟焼損)

昭和63年（1988年） 火災118件、救急出動件数2,913件

2月29日 消防通信施設更新取替

3月 1日 広域管内災害情報消防テレホンサービス運用開始

4月 1日 条例定数改正（23名増の243人）

8月19日 石巻地区婦人防災活動連絡会から防火広報車1台（防火号）寄付受納

10月 1日 石巻消防署中里出張所庁舎を新築し開設する（4署1分署9出張所）

昭和63年の主な災害（全国）

7月11日～30日 7月豪雨全国で死者行方不明者27人

昭和63年の主な災害（管内）

3月10日 石巻市新橋建物火災（5棟焼損）

11月17日 石巻市穀町建物火災（5棟焼損）



■ 平成 前期編

昭和64年・平成元年（1989年） 火災144件、救急出動件数3,038件

8月4日 株式会社高政から救急自動車1台（うみねこ号）寄付受納、女川消防署に配備

9月2日 石巻広域消防音楽隊10周年記念演奏会開催（石巻市民会館）

9月19日 石巻市民会館にて

11月13日 消防本部隣接地を借地し訓練塔を設置する



平成元年の主な火災、災害（管内）

5月22日 桃生町給人町建物火災（10棟焼損）

7月5日 石巻市門脇字青葉東建物火災
（5棟焼損）

平成2年（1990年） 火災145件、救急出動件数3,208件

4月1日 第7代消防長に 小嶋輝男 氏 就任

9月13日 宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車1台寄付受納 河北消防署に配備

11月16日 財団法人消防科学総合センターから救急自動車1台寄付受納 矢本消防署に配備

平成2年の主な災害（国内）

3月18日 兵庫県 スーパー長崎屋尼崎店火災 死者15人

6月28日 平成2年梅雨前線豪雨により九州地方などで死者32人

9月17日～20日 台風19号により岡山県などで死者行方不明者44人

平成3年（1991年） 火災149件、救急出動件数3,349件

4月1日 条例定数を293人に改正（50人増）

11月2日 石巻広域消防発足20周年記念式典挙行

(423)救急救命士法公布

平成3年の主な災害（国内）

5月14日 滋賀県信楽高原駅列車事故により死者42人

6月3日 長崎県雲仙普賢岳火砕流により死者40人

8月23日 台風第12号により九州などで死者行方不明者16人

9月14日 台風第17号により九州などで死者11人

9月19日～20日 台風第18号により近畿などで死者12人

9月27日～28日 台風第19号により全国で死者62人

平成3年の主な火災、災害（管内）

5月10日 石巻市立湊第二小学校校舎建設現場で爆発事故（負傷者8人）

7月4日 航空自衛隊松島基地所属ブルーインパルス2機が金華山沖で墜落
搭乗隊員2名殉職





平成4年（1992年） 火災121件、救急出動件数3,581件

4月 1日 第8代消防長に 市川 登 氏 就任

4月 1日 石巻消防署中央分署に兼任の救急隊を設置する

平成4年の主な火災、災害（管内）
1月16日 石巻市旭町建物火災（6棟焼損）

平成5年（1993年） 火災135件、救急出動件数3,700件

1月 6日 県共済農業協同組合連合会から救急自動車1台寄付受納女川消防署牡鹿出張所に配備

3月31日 救急救命士1名を養成する

4月 1日 第9代消防長に 及川英之助 氏 就任

6月14日 株式会社丸本組から小型ポンプ付き水槽車（10t）防災指導車（35人乗り）寄付受納

11月 8日 消防本部会議室等を新築（建替え）する

建替え前の消防本部会議室棟



(3.25)三陸自動車道
鳴瀬奥松島IC供用開始



平成5年の主な災害（国内）

- 7月12日 北海道南西沖地震（M7.8 最大震度6）奥尻島などで津波、火災
死者行方不明者230人
 - 8月1日及び6日 平成5年8月豪雨により鹿児島県などで死者71人
 - 9月3日～4日 台風第13号により鹿児島県などで死者行方不明者48人
- 平成5年の主な火災、災害（管内）
- 6月28日 石巻市真野建物火災（1,497㎡焼損）

平成6年（1994年） 火災143件、救急出動件数3,972件

4月1日 条例定数を294人に改正（1人増）

平成6年の主な災害（国内）

- 4月26日 名古屋空港で中華航空便機墜落事故 死者246人
- 平成6年の主な火災、災害（管内）
- 1月22日 牡鹿町立網長中学校火災
 - 6月9日 石巻市魚町建物火災（8棟焼損）
 - 9月9日 石巻市蛇田建物火災（9棟焼損）
 - 10月15日 石巻市湊建物火災（13棟焼損）



河北消防署



河北消防署車庫内

平成7年（1995年） 火災131件、救急出動件数4,202件

2月18日 消防音楽隊発足15周年記念演奏会を開催（石巻市民会館）

4月1日 第10代消防長に 菊地哲雄 氏 就任

4月1日 石巻消防署に高規格救急自動車を配置し運用を開始する

平成7年の主な災害（国内）

- 1月17日 阪神・淡路大震災（M7.2 最大震度7）死者6,432人
 - 3月20日 地下鉄サリン事件 死者13人、負傷者約6,300人
- 平成7年の主な火災、災害（管内）
- 3月29日 河南町前谷地建物火災（5棟焼損）

(7.28)東北電力女川原子力発電所2号機運転開始

平成8年（1996年） 火災165件、救急出動件数4,230件

4月 3日 生活協同組合全日本消防人共済会から指揮広報車1台寄付受納

9月 5日 協業組合石巻浄化槽管理センターから指揮官車1台、指令車4台寄付受納

平成8年の主な災害（国内）

2月10日 北海道豊浜トンネル岩盤崩落事故 死者20人

9月22日～23日 台風第17号により関東地方などで死者13人

12月 6日 新潟長野県境 蒲原沢土石流災害 工事作業員14名死亡

※ 緊急消防援助隊が法整備後初の出動

平成8年の主な火災、災害（管内）

7月19日 牡鹿町新山浜建物火災（8棟焼損）



平成9年（1997年） 火災138件、救急出動件数4,472件

4月 1日 第11代消防長に 宇佐美哲雄 氏 就任

4月 1日 条例定数を297人に改正（3人増）

平成9年の主な災害（国内）

7月 9日 鹿児島県 出水市針原地区土石流災害 死者21人

7月26日～28日 台風第9号により四国などで死者20人

平成10年（1998年） 火災140件、救急出動件数4,635件

4月 1日 条例定数を330人に改正（33人増）

4月 6日 矢本消防署に高規格救急自動車を配置し運用を開始する

平成10年の主な災害（国内）

8月27日 台風第4号後により栃木県などで死者行方不明者24人

9月21日 台風第7号及び第8号により近畿地方などで死者行方不明者19人

10月17日 台風第10号により中国地方などで死者行方不明者15人

平成10年の主な火災、災害（管内）

3月 8日 桃生町高須賀で建物火災 焼損面積1,056㎡



(3.20)三陸自動車道
石巻港IC供用開始
石巻河南IC供用開始

■ 平成 中期編

平成11年(1999年) 火災145件、救急出動件数4,936件

3月29日 河北消防署桃生出張所庁舎を新築移転する

4月6日 女川消防署に高規格救急自動車を配置し運用を開始する

平成11年の主な災害(国内)

6月29日 6.29豪雨災害により福岡県・広島県などで死者39人

8月14日 玄倉川水難事故により死者13人

9月24日 台風第11号により熊本県などで死者30人

9月30日 茨城県東海村JCO臨界事故 死者1人。約80人被ばく
半径10Kmの約31万人が屋内退避

平成11年の主な火災、災害(管内)

7月7日 桃生町太田建物火災(5棟焼損)

8月17日 石巻市川口町建物火災(7棟焼損)



平成12年(2000年) 火災146件、救急出動件数5,217件

3月11日 石巻広域消防音楽隊発足20周年記念演奏会を挙げる(石巻市民会館)

4月1日 第12代消防長に 神戸 弘 氏 就任

平成12年の主な災害(国内)

9月11日 台風第14号の影響による豪雨により東海地方で死者10人

平成12年の主な火災、災害(管内)

2月24日 女川原子力発電所構内建物火災(ぼや)

3月22日 航空自衛隊松島基地所属T2型練習機1機が女川町指ヶ浜山林に墜落し
パイロット1名殉職

7月4日 航空自衛隊松島基地所属ブルーインパルス2機が牡鹿町谷川浜周辺山林
に墜落しパイロット3名殉職

3月5日 河南町北村林野火災(2.2ヘクタール焼損)

12月12日 石巻市三和町建物火災(8棟焼損)



平成13年(2001年)火災148件、救急出動件数5,459件

11月20日 組合消防設立30周年記念式典挙行

11月20日 石広消厚生会から消防本部旗並びに
デスクトップ型パソコン21台寄付受納

(9.11)米国NYなどで同時多発テロ

平成13年の主な災害(国内)

7月21日 明石花火大会歩道橋事故により死者11人

9月1日 東京都新宿歌舞伎町ビル火災により死者44人

9月7日 台風第16号により沖縄県で死者行方不明者99人

平成13年の主な火災、災害(管内)

5月18日 石巻市立渡波中学校建物火災(部分焼)

7月15日 女川町立第四小学校(出島)建物火災(給食室ぼや)

9月7日 石巻市東中里建物火災(5棟焼損)

平成14年(2002年)火災128件、救急出動件数5,513件

4月1日 第13代消防長に 加賀見勝敏 氏 就任

4月1日 河北消防署に高規格救急自動車を配置し運用を開始する

4月8日 河北消防署会議室棟を増築

7月10日 台風第6号により旧北上川流域5,894世帯に避難勧告

(1.30)東北電力女川原子力発電所3号機運転開始

平成14年の主な災害(国内)

10月1日 長崎県長崎市で豪華客船ダイヤモンドプリンセス船舶火災
船体50,295㎡焼損

平成14年の主な火災、災害(管内)

1月10日 石巻市羽黒町建物火災(6棟焼損)

2月9日 女川原子力発電所構内建物火災(原子炉建屋内ぼや)

2月27日 北上町十三浜建物火災(6棟焼損)

平成15年(2003年)火災109件、救急出動件数6,077件

3月26日 矢本消防署鳴瀬出張所庁舎を新築し移転する

4月1日 組合規約を改正し、管理者制から理事会制へ移行する。(理事長は石巻市長)

4月1日 条例定数を334人に改正(4人増)

4月1日 女川消防署牡鹿出張所に高規格救急自動車を配置し運用を開始する

7月26日 宮城県北部連続地震(震源:旭山撓曲沿い深さ12km)※津波無し

前震 00時13分 M5.6 鳴瀬町、矢本町で震度6弱

本震 07時13分 M6.4 鳴瀬町、矢本町で震度6強

桃生町、河南町で震度6弱

最大余震16時56分 M5.5 河南町で震度6弱

管内の人的被害 死者無し、重傷者37人、軽症者514人

管内の住家被害 全壊955棟、半壊2,552棟、一部損壊6,568棟

地震による火災 1件

広域消防応援協定に基づき仙台市消防局より8隊31名受援

10月 1日 石巻消防署渡波出張所に高規格救急自動車を配置し運用を開始する

11月30日 宮城県北部連続地震の記録発行

(12.14)三陸自動車道
河北IC供用開始

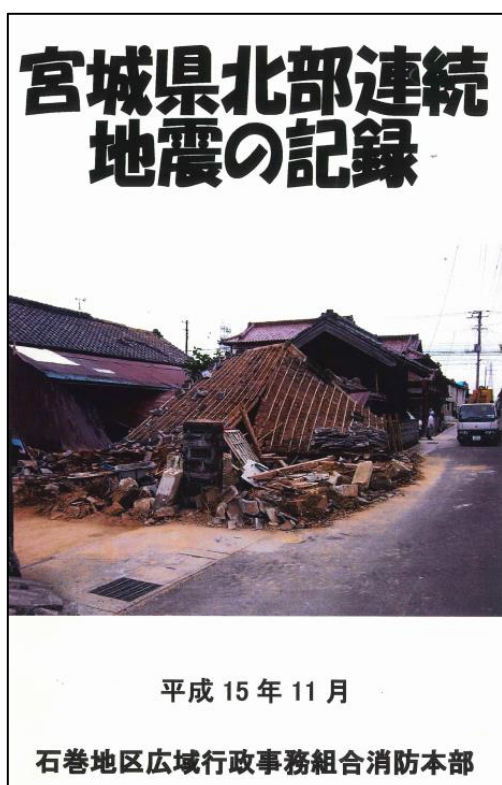
平成15年の主な災害（国内）

7月18日～21日 梅雨前線豪雨により水俣市などで土石流が発生するなど西日本で死者23人

8月 8日～10日 台風第10号により北海道などで死者行方不明者19人

平成15年の主な火災、災害（管内）

4月 4日 石巻市旭町建物火災（5棟焼損）



住家の被害



矢本町森井



矢本町森井



新南町広瀬



橋野町真富田

平成16年（2004年）火災120件、救急出動件数6,171件

3月17日 石巻市立町建物密集区域において建物火災（第三出動）

4月 1日 第14代消防長に 千葉幸喜 氏 就任

4月 1日 条例定数を350人に改正（16人増）

4月 1日 河北消防署に高規格救急自動車を配置し運用を開始する（兼務隊）

7月 1日 河北消防署北上出張所に救急自動車を配置し運用を開始する（兼務隊）

矢本消防署鳴瀬出張所に救急自動車を配置し運用を開始する（兼務隊）

女川消防署雄勝出張所に救急自動車を配置し運用を開始する（兼務隊）



矢本消防署鳴瀬出張所



河北消防署北上出張所



女川消防署雄勝出張所

(12.26)スマトラ島沖巨大地震
インド洋津波
死者行方不明 32 万人

平成16年の主な災害（国内）

- 7月13日 新潟・福島豪雨（7.13 水害）により死者16人
- 8月 9日 福井県関西電力（株）美浜発電所3号機タービン建屋事故
死者4人、負傷者5人
- 8月17日 台風第15号により四国などで死者10人
- 8月30日 台風第16号により瀬戸内海などで死者行方不明者17人
- 9月 6日 台風第18号により北海道、中国地方などで死者行方不明者22人
厳島神社の国宝18棟が強風と高潮により破損
- 9月29日 台風第21号により愛媛県などで死者行方不明者27人
- 10月20日 台風第23号により兵庫県など20府県で死者行方不明者98人
- 10月23日 新潟県中越地震により死者68人（M6.8、最大震度7）

平成16年の主な火災、災害（管内）

- 4月30日 石巻市松原町建物火災（8棟焼損）
- 8月 6日 東北電力（株）女川発電所構内でその他の火災（ケーブル焼損）
- 10月30日 牡鹿町網地浜建物火災（5棟焼損）



矢本消防署河南出張所

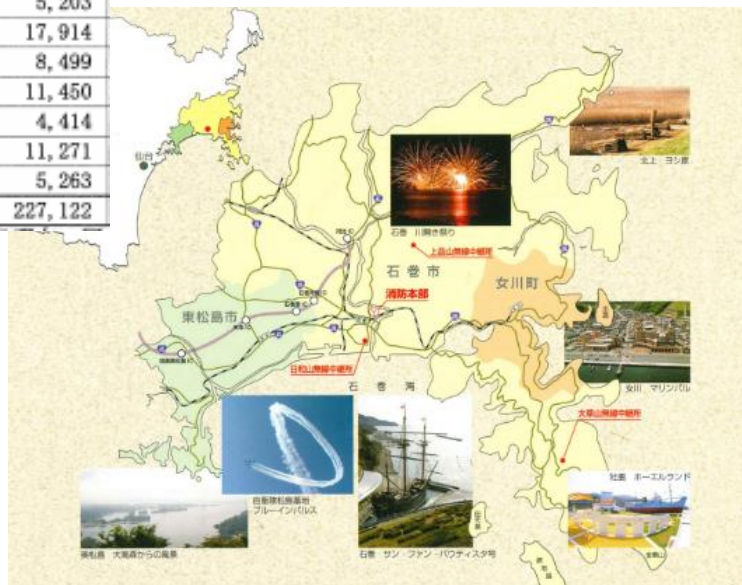
平成17年(2005年)火災112件、救急出動件数6,610件

- 3月28日 宮城県北部連続地震で損壊した矢本消防署河南出張所庁舎を新築移転する
矢本消防署河南出張所に高規格救急自動車を配置し運用を開始する
- 4月1日 組織市町合併により1市9町が2市1町となる
石巻市、河北町、雄勝町、河南町、桃生町、北上町、牡鹿町が合併して石巻市に
矢本町、鳴瀬町が合併して東松島市になり、石巻広域圏が石巻市、東松島市、女川町となる。
- 4月1日 女性消防吏員1名を採用する

平成17年の主な災害(国内)
 4月25日 JR福知山線脱線事故により死者107人
 9月6日 台風第14号により宮崎県などで死者行方不明者27人
 平成17年の主な火災、災害(管内)
 4月6日 石巻市三和町建物火災(11棟焼損)
 5月13日 石巻市伊勢町建物火災(6棟焼損)
 9月2日 女川町鷲神浜建物火災(13棟焼損)

市町名	面積 (Km ²)	人口 (人)
石巻市	137.04	117,693
河北町	125.09	13,307
矢本町	49.81	32,108
雄勝町	46.12	5,203
河南町	69.33	17,914
桃生町	43.82	8,499
鳴瀬町	52.05	11,450
北上町	60.98	4,414
女川町	65.78	11,271
牡鹿町	72.98	5,263
合計	723.00	227,122

2市1町に合併前の管内現勢
(平成16年度消防年報より)



2市1町に合併後の管内

平成18年(2006年)火災81件、救急出動件数7,034件

- 2月15日 条例定数を357人に改正(7人増)
- 4月1日 第15代消防長に 千葉 茂 氏 就任
- 4月1日 消防本部に消防危機管理監を配置
- 4月6日 屈折式はしご車を更新し30メートル級(35メートル)はしご車運用開始



平成18年の主な災害(国内)
7月15～7月豪雨により、南九州や北陸地方、長野県、山陰地方などで死者行方不明者30人
9月18日 台風第13号により九州などで死者行方不明者10人
平成18年の主な火災、災害(管内)
10月6日 低気圧により女川湾内において第7千代丸座礁死者行方不明者16人
11月29日 石巻市松原町建物火災(7棟焼損)

はしご車(35m)

屈折式はしご車

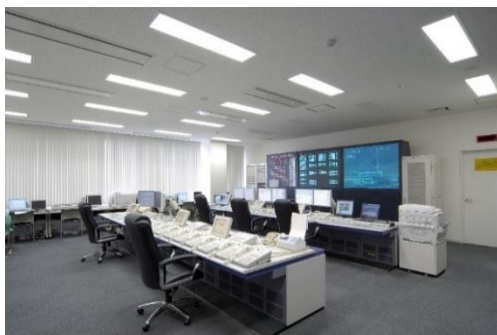


平成19年(2007年)火災104件、救急出動件数7,581件

- 3月31日 石巻消防署中里出張所を廃止する
- 4月1日 消防本部庁舎(石巻消防署併設)を新築移転する
高機能消防指令センターII型の運用を開始する
- 4月1日 旧石巻消防署に石巻消防署南分署を設置する
- 4月1日 石巻消防署中央分署を石巻消防署中央出張所に改める
- 4月1日 石巻消防署渡波出張所に高規格救急自動車を配置し運用を開始する
- 12月16日 女川消防署庁舎を新築移転する

(6.9)三陸自動車道
桃生豊里
桃生津山IC供用開始

平成19年の主な災害(国内)
7月16日 新潟県中越沖地震(M6.8最大震度6強)死者15人
平成19年の主な火災、災害(管内)
4月30日 石巻市浜松町建物火災(7棟焼損)



高機能消防指令センターII型





消防本部庁舎（石巻消防署併設）



女川消防署

平成20年（2008年）火災105件、救急出動件数7,355件

4月1日 第16代消防長に 石母田信雄 氏 就任

6月14日 岩手・宮城内陸地震に広域消防応援協定に基づき応援隊派遣 延べ10隊47名

11月16日 石巻市民会館を会場に地震防災講演会を開催する

平成20年の主な災害（国内）

6月14日 岩手・宮城内陸地震（M7.2最大震度6強）

死者行方不明者23人

平成20年の主な火災、災害（管内）

10月3日 東北電力（株）女川発電所構内で建物火災（コードドラム焼損）

11月27日 東北電力（株）女川発電所構内でその他の火災（養生シート焼損）



岩手・宮城内陸地震
栗原市消防本部に設置され
た緊急援助隊式支援本部

平成21年(2009年)火災103件、救急出動件数8,048件

4月1日 第17代消防長に 土井正洋 氏 就任

4月1日 石巻消防署南分署庁舎を改築(解体新築)した

平成21年の主な災害(国内)

7月19~26日 中国・九州北部豪雨により死者36人

8月10~14日 台風第9号により徳島県などで死者行方不明者27人



平成22年(2010年)火災91件、救急出動件数7,365件

2月28日 2010年チリ地震により宮城県に津波警報(大津波3m以上)発表
宮城県内で1m6cmの津波を観測

4月1日 第18代消防長に 太田 明 氏 就任

4月1日 河北消防署北上出張所庁舎を新築移転した

平成22年の主な火災、災害(管内)

3月21日 石巻市南境建物火災(11棟焼損)

4月3日 石巻市長浜町建物火災(10棟焼損)



■ 平成 後期編

平成23年(2011年) 火災128件、救急出動件数10,607件

3月11日 東日本大震災 14時46分 マグニチュード9.0 管内最大震度6強

- ・ 14時49分宮城県沿岸に津波警報(6m大津波) ※15時14分に(10m以上大津波)発表
- ・ 津波により石巻消防署1名、河北消防署北上出張所2名、女川消防署3名が殉職、石巻消防署等で5名が負傷した
- ・ 河北消防署北上出張所、矢本消防署鳴瀬出張所、女川消防署、女川消防署雄勝出張所、女川消防署牡鹿出張所の5署所が津波により全壊し、石巻消防署南分署等3署所の1階部分が浸水した
- ・ 沿岸部の署所を中心にポンプ車等23台の車両が津波により被災した

3月12日 北海道、新潟県、和歌山県、山口県、鹿児島県から緊急消防援助隊受援
(5月10日まで 延べ2,531隊10,274人)

～3月末日 河北消防署北上出張所仮事務所を石巻市北上災対支部内に設置した
矢本消防署鳴瀬出張所仮事務所を東松島市鳴瀬支所内に設置した
女川消防署仮事務所を女川第一中学校体育館内に設置した
女川消防署雄勝出張所仮事務所を石巻市雄勝総合支所敷地内に設置した
女川消防署牡鹿出張所仮事務所を石巻市牡鹿総合支所内に設置した

4月 1日 第19代消防長に 星 幸三郎 氏 就任

4月15日 全国消防長会よりポンプ車4台、高規格救急車6台、査察広報車1台、指揮車1台無償譲渡された

5月10日 仙台市消防局等県内5本部から県内広域応援隊受援
(5月31日まで延べ132隊440人)

5月24日 台湾貫薪企業集団からポンプ車、救急車各1台購入費用を寄付受納した

5月26日 河北消防署北上出張所を新築した石巻市北上総合支所応急仮設庁舎内に移転した

7月 5日 女川消防署雄勝出張所を新築した石巻市雄勝総合支所応急仮設会議棟内に移転した

9月 7日 女川消防署仮事務所を女川町野球場内に移転した

9月10日 東日本大震災石巻広域消防殉職者慰霊祭を挙行了した

10月 7日 兵庫県芦屋市より水槽付きポンプ自動車1台、救助工作車Ⅲ型1台無償譲渡された

10月26日 矢本消防署鳴瀬出張所応急仮設庁舎を建設し移転した

東日本大震災における管内の被害状況(H24.3.11時点)

死者行方不明者5,489人 住宅全壊 30,750世帯

火災 31件 22棟全焼 発災後の避難状況 115,155人(3月14日)

震災から数日後の消防本部周辺



石巻市南浜町での救助活動
石巻日日新聞撮影



緊急消防援助隊（北海道、新潟、和歌山、山口、鹿児島の1道4県から受援）



石巻市湊地区



石巻市門脇地区



石巻赤十字病院

平成23年の災害（全国）

3月11日 東日本大震災 M9.0 最大震度7
死者19,747人 行方不明者2,556人 (R3.3.1時点)

4月8日 東日本大震災最大余震 (M7.2最大震度6強)

9月3日 台風第12号により和歌山県などで死者行方不明者98人

9月21日 台風第15号により宮城県など9県で死者行方不明者18人

平成23年の管内の主な火災・災害

1月4日 石巻市長浜町建物火災 (13棟焼損)

3月11日 東北電力(株)女川原子力発電所構内建物火災 (配線被覆焼損)

9月28日 石巻市湊その他の火災 (野積み集積された震災がれきの自然発火)

10月4日鎮火

平成24年(2012年) 火災76件、救急出動件数7,979件

- 3月9日 JENから消防音楽隊用楽器を寄付受納した
- 3月26日 日本製紙株式会社より石巻市へ化学消防車1台寄贈され消防本部へ貸与される
- 4月1日 女性消防吏員1名採用(計3名)
- 4月1日 矢本消防署に特別救助隊を配置する(兼務隊)
- 4月1日 北見地区消防組合消防本部より研修派遣(1年間)職員受け入れ(第1期)
- 6月1日 女川消防署応急仮設庁舎を建設し移転した
- 9月11日 東日本大震災石巻広域消防の活動記録誌発行
- 12月10日 全国共済農業協同組合連合会より高規格救急自動車1台寄付受納した
- 12月11日 女川消防署雄勝出張所を新築移転した石巻市雄勝総合支所応急仮設庁舎内に移転した

女川消防署仮設庁舎



女川消防署雄勝出張所仮設庁舎(石巻市雄勝町小島)
(石巻市雄勝総合支所仮設庁舎に併設)



平成24年の主な災害(全国)

- 5月13日 広島県福山市ホテル火災により死者7人
- 7月11~14日 九州北部豪雨により死者30人

消防本部東側に応急仮設住宅が
建設される(540戸分)



平成24年度石巻地区水防演習(石巻市桃生町植立山)



平成25年(2013年) 火災89件、救急出動件数8,177件

2月13日 北見地区消防組合北見消防団長 高橋勝志氏より救命胴衣160着を寄贈受納する

3月10日 消防本部敷地内に東日本大震災殉職職員慰霊碑を建立する

3月18日 総務省より資機材搬送車を無償貸与される

3月19日 東日本大震災により被災した消防車両の復旧完了(災害復旧補助金)

消防ポンプ自動車3台、高規格救急自動車5台、水槽付き消防ポンプ自動車1台
救助工作車Ⅲ型1台、広報連絡車5台

4月1日 第20代消防長に 土井兼一氏 就任

4月1日 北見地区消防組合消防本部より研修派遣(1年間)職員受け入れ(第2期)

4月1日 石巻消防署及び矢本消防署特別救助隊が水難にかかるとの潜水業務を開始する

12月20日 河北消防署北上出張所仮設庁舎を新築し移転した



解体中の石巻市立病院(右奥は石巻市文化センター) 石巻市南浜

平成25年の主な災害(全国)

10月11日 福岡県福岡市博多区 整形外科火災 死者10人

10月16日 台風第26号により伊豆大島などで死者43人



河北消防署北上出張所仮設庁舎(北上町橋浦)



復旧復興中の女川町中心部

平成26年(2014年) 火災65件、救急出動件数8,360件

3月10日 東日本大震災時の消防協力功勞として10団体・個人に消防長表彰式挙行(感謝状)

4月1日 消防救急デジタル無線の運用開始(事業費759,308千円)

6月16日 矢本消防署鳴瀬出張所仮設庁舎に仮設車庫棟建設



救急救命士の養成状況

	養成 職員	採用 職員	累計	実働 職員	指導 救命士
平成5年度	1人		1人	1人	
平成6年度	1人		2人	2人	
平成7年度	3人		5人	5人	
平成8年度	2人		7人	7人	
平成9年度	3人		10人	10人	
平成10年度	2人		12人	12人	
平成11年度	2人		14人	14人	
平成12年度	2人		16人	16人	
平成13年度	2人		18人	18人	
平成14年度	2人		20人	20人	
平成15年度	2人		22人	22人	
平成16年度	2人		24人	24人	
平成17年度	2人		26人	26人	
平成18年度	2人		28人	28人	
平成19年度	1人		29人	29人	
平成20年度	2人	1人	32人	31人	
平成21年度	3人		35人	34人	
平成22年度	3人		38人	36人	
平成23年度	3人		41人	36人	
平成24年度	3人		44人	38人	
平成25年度	3人		47人	38人	
平成26年度	3人	1人	51人	38人	2人
平成27年度	4人	2人	57人	41人	1人
平成28年度	5人	1人	63人	45人	
平成29年度	4人	1人	68人	47人	
平成30年度	3人		71人	52人	1人
令和元年度	3人	1人	75人	53人	2人
令和2年度	3人	1人	79人	55人	1人
計	71人	8人			7人



平成26年の主な災害(全国)
 8月19日 広島市において大雨による土砂災害 死者77人
 9月27日 長野岐阜県境の御嶽山噴火 死者58人

平成27年(2015年) 火災64件、救急出動件数8,291件

- 4月 1日 女性消防吏員1名採用(計4名)
- 4月 1日 東日本大震災以降休止していた消防音楽隊の活動を再開する
- 4月30日 石巻消防署中央出張所を廃止する
- 5月 1日 石巻消防署西分署庁舎を新築し運用を開始する
- 9月11日 関東・東北豪雨により黒川地区へ県内応援協定に基づき応援派遣(2隊7名)
- 10月 5日 総務省佐々木消防庁長官が消防本部に激励視察
- 11月 1日 女川消防署牡鹿出張所を新築し移転する



平成27年の主な災害(全国)
5月17日 神奈川県川崎市において
簡易宿泊所火災 死者10人
9月 9~11日 関東・東北豪雨により
茨城県などで死者20人



平成28年(2016年) 火災68件、救急出動件数8,394件

4月1日 第21代消防長に 阿部栄一氏 就任

4月1日 消防本部警防課と通信指令課を消防本部警防課に統合

8月30日 台風10号により岩手県岩泉町で死者19人

緊急消防援助隊宮城県隊として応援派遣(9.1~9.9) 消火隊等延べ30隊111人

8月31日 石巻消防署湊出張所及び石巻消防署渡波出張所を廃止

9月1日 石巻東消防署庁舎を新築し開設する



平成28年の主な災害(全国)

4月14日 平成28年(2016年)熊本地震 死者273人

8月30日 台風10号が岩手県大船渡市に上陸 岩手県などで死者26人

12月22日 新潟県糸魚川市において大規模火災 住宅等147棟焼損、焼失面積約40,000㎡



平成29年(2017年) 火災63件、救急出動件数8,339件

4月1日 第22代消防長に 今宮文生氏 就任

9月12日 宮城県石油商業組合石巻支部と災害時における燃料の供給に関する協定を締結



平成29年の主な災害(全国)

3月5日 長野県防災ヘリコプター墜落事故により搭乗者9名死亡

7月5日~6日 平成29年7月九州北部豪雨 福岡県などで死者42人

平成29年の管内の主な火災・災害

4月6日 東松島市大塚建物火災(11棟焼損)第3出動



いしのまき川開き祭り陸上の部(平成29年8月1日)



東松島市上空から石巻市方面を望む(宮城県防災航空隊撮影)

平成30年(2018年) 火災52件、救急出動件数8,723件

4月 1日 矢本消防署河南出張所を石巻消防署河南出張所に管轄区域を変更する

4月 1日 矢本消防署を東松島消防署に名称変更

4月 1日 東松島消防署鳴瀬出張所を新築し移転する

9月 6日 北海道胆振東部地震に緊急消防援助隊として応援派遣(延べ14隊70名)



平成30年の主な災害(全国)

6月28日~7月8日平成30年7月豪雨及び台風12号により 広島県などで死者263人

8月10日 群馬県防災ヘリコプター墜落事故により搭乗者9名死亡

9月 4日 台風第21号により大阪府などで死者14人

9月 6日 北海道胆振東部地震(M6.7 最大震度7) 死者43人



■ 令和編

平成31年・令和元年（2019年） 火災48件、救急出動件数8,986件

- 1月20日 石巻市鮎川浜地内の林野火災において県内広域応援隊受援
塩釜指揮隊及び水槽車隊、黒川水槽車隊
- 4月 1日 第23代消防長に 鈴木芳一 氏 就任
- 4月 1日 消防本部警防課を消防本部警防課と消防本部指令課に分割
- 4月 1日 女川消防署雄勝出張所を移転新築した
女川消防署雄勝出張所を河北消防署管轄に変更（河北消防署雄勝出張所）



H31. 3. 3 河北消防署雄勝出張所開庁式

- 4月 1日 高度救助隊を石巻消防署に配置した
- 4月 1日 石巻東消防署に特別救助隊を配置した（兼務隊）
- 4月 1日 女性消防吏員を1名採用（計5名）
- 9月30日 災害時における無人航空機の運用に関する協定をニホン海洋株式会社らと締結
- 10月15日 台風19号（令和元年東日本台風）で被害のあった丸森町へ県内応援隊として派遣



令和元年の主な災害（国内）

10月6日～13日 令和元年東日本台風

全国で死者105名、管内死者1名

主な災害（管内）

1月20日 石巻市鮎川浜林野火災 2ヘクタール焼損



石巻川開き祭り孫兵衛船競漕
石広消孫兵衛クラブ10年ぶりの優勝



H31. 1. 20（日）20時20分 現場指揮本部撮影
海岸近くの断崖の火煙が山上方向へ延焼中

令和2年（2020年） 火災65件、救急出動件数7,990件

3月12日 新型コロナウイルス（COVID-19）感染者が宮城県内で発生したことから警防対策本部を設置した

4月1日 第24代消防長に 水沼克之 氏 就任

4月1日 河北消防署北上出張所庁舎を新築移転した

7月4日 石巻ガス株式会社と火災予防啓発の連携に関する協定締結

11月20日 東松島消防署庁舎を移転新築した



河北消防署北上出張所

令和2年の主な災害（国内）

7月3日～8日 令和2年7月豪雨により熊本県など全国で死者84名

主な災害（管内）

5月13日 東松島市西福田建物火災（8棟焼損）



宮城県防災航空隊との合同訓練
（上空指揮訓練）



J R石巻駅前での火災予防啓発活動



東松島消防署

令和3年（2021年）

4月 1日 第25代消防長に 浜野 淳 氏 就任

4月 1日 女川消防署庁舎を新築移転、女川消防署牡鹿出張所を石巻東消防署牡鹿出張所に管轄区域を変更する



女川消防署



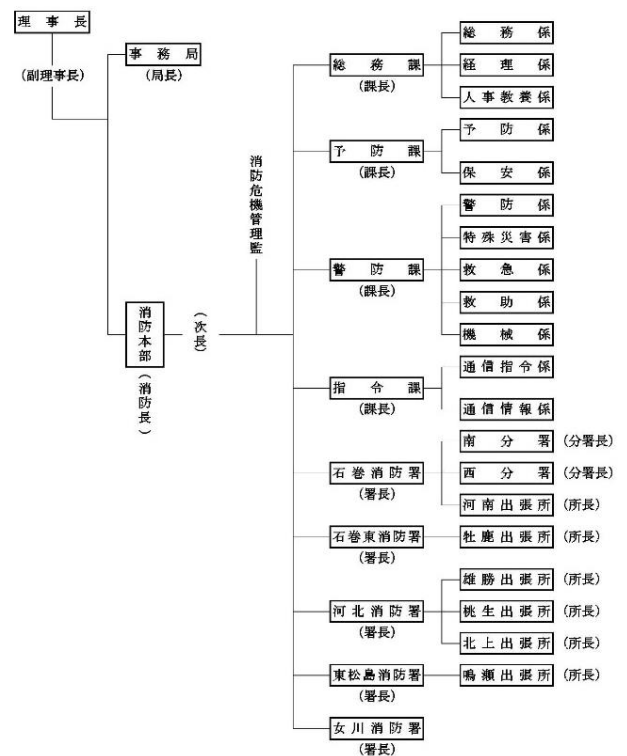
オリンピック・パラリンピック聖火リレー



令和3年度定例招集・理事長観閲



令和3年4月1日現在の組織図



■ 東日本大震災からのあゆみ

(被災庁舎の再建)

津波により5つの消防庁舎(女川消防署、北上出張所、雄勝出張所、牡鹿出張所、鳴瀬出張所)が全壊し、仮設庁舎での業務を遂行していました。

令和2年度中に女川消防署庁舎が復旧完了し、これにより全壊した全ての消防庁舎が高台に移転し復旧しました。

(被災した消防装備の補充)

震災直後は全国消防長会を始め車両の無償譲渡、寄付受納等により被災署所の消防業務にあたっていました。

国庫補助等により平成25年度までに消防車両の補充が完了しています。

(安全管理の徹底)

この震災で6名の職員が津波により殉職しました。

消防本部の敷地内に慰霊碑を建立し、平時を含め2度と殉職者を出すことのないよう誓いを込めております。

震災当時全職員分の救命胴衣が配備されていなかったことから、震災後すぐに職員分及び要救助者分の救命胴衣500着を配備しました。

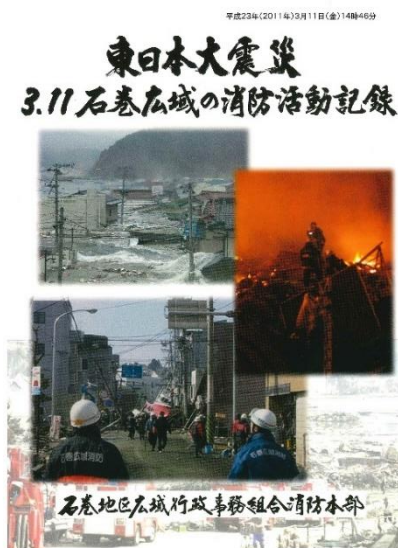
また、震災前まで特別救助隊のみに配備していた救命ボートを、すべての署所に配備しました。

(救助体制の強化)

震災以前、1隊のみの運用であった特別救助隊の強化を図り、水難業務を加えるとともに、高度救助隊を含め3隊に増強しました。

(震災の伝承)

震災直後に記録誌を刊行していますが、10年の節目を迎えたことから、中堅幹部職員を中心として震災の経験、教訓を震災後に拝命した職員に伝承するための教本作成の取り組みを行いました。



震災記録誌発刊



震災伝承教養資料

■ 石巻広域消防音楽隊の沿革

石巻広域消防音楽隊は、1979年（昭和54年）に発足し、石巻広域圏での防火防災思想の普及啓発を目的に定期演奏会をはじめ、消防出初め式等の式典、いしのまき川開き祭りパレードなど年間約20回の演奏活動を通じて火災予防の広報活動を行っています。

2011年（平成23年）3月11日の東日本大震災以降、活動を休止しておりましたが、「ふるさとの復興と火の用心を音楽に託して」の新たなスローガンを掲げ、平成27年度から本格的に活動を再開いたしました。

2003年（平成15年）には、石巻市市制施行70周年記念コンサートにおいて、ニューヨークフィルブラスクインテットと共演、活動再開後の2015年（平成27年）には陸上自衛隊東北方面音楽隊と合同演奏会を開催し、好評を博しました。



■ 救助隊の沿革

救助隊の沿革

昭和49年4月 石巻消防署に特別消防隊を配置

昭和61年10月 救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の制定

昭和62年9月 救助活動に関する基準の制定

昭和53年4月 石巻消防署に救助工作車を配備

平成13年4月 特別消防隊から特別救助隊に改め

平成18年3月 救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の一部改正
(救助隊の配置基準の変更)

平成24年4月 矢本消防署に特別救助隊を配置
(兵庫県芦屋市寄贈の救助工作車により運用を開始)

平成25年3月 特別救助隊による潜水業務活動開始

平成31年4月 高度救助隊を発足石巻消防署に配置

石巻東消防署に特別救助隊を配置

救助隊3隊運用を配置



消防救助技術大会

全国大会

- | | |
|----------------------|---|
| 第16回 昭和62年8月 (千葉市) | ロープ応用登はん |
| 第19回 平成2年8月 (広島市) | ロープブリッジ渡過 |
| 第20回 平成3年8月 (大阪市) | ロープ登はん |
| 第22回 平成5年8月 (福岡市) | ロープ応用登はん |
| 第26回 平成9年8月 (千葉市) | ロープ応用登はん |
| 第28回 平成11年8月 (横浜市) | ロープ応用登はん |
| 第29回 平成12年8月 (熊本市) | ロープ応用登はん |
| 第30回 平成13年8月 (東京都) | ロープ登はん |
| 第31回 平成14年8月 (名古屋市) | ロープブリッジ渡過 |
| 第32回 平成15年8月 (仙台市) | ロープブリッジ渡過 |
| 第33回 平成16年8月 (神戸市) | 斜めブリッジ救助 |
| 第34回 平成17年8月 (さいたま市) | ロープブリッジ渡過 |
| 第35回 平成18年8月 (札幌市) | はしご登はん・ロープ応用登はん |
| 第36回 平成19年8月 (東京都) | ロープブリッジ渡過 |
| 第37回 平成20年8月 (北九州市) | はしご登はん |
| 第38回 平成21年8月 (横浜市) | ロープブリッジ渡過 |
| 第39回 平成22年8月 (京都市) | はしご登はん |
| 第40回 平成23年8月 (さいたま市) | 東日本大震災により中止 |
| 第41回 平成24年8月 (東京都) | はしご登はん・ロープ応用登はん・ロープブリッジ救出 |
| 第42回 平成25年8月 (広島市) | はしご登はん・ロープブリッジ救出 |
| 第43回 平成26年8月 (千葉市) | はしご登はん・ロープブリッジ渡過 |
| 第44回 平成27年8月 (神戸市) | はしご登はん・ロープブリッジ渡過 |
| 第45回 平成28年8月 (松山市) | はしご登はん |
| 第46回 平成29年8月 (仙台市) | はしご登はん・ロープブリッジ渡過・ロープ応用登はん・
ロープブリッジ救出 |
| 第47回 平成30年8月 (京都市) | はしご登はん |
| 第48回 令和元年8月 (岡山市) | 障害突破 |
| 第49回 令和2年7月 (北九州市) | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催見送り |
| 第49回 令和3年7月 (北九州市) | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 |



第22回全国消防救助技術大会
「ロープ応用登はん」入賞



第42回全国消防救助技術大会
「はしご登はん」第1位

東北大会

【東北地区支部消防救助技術指導会】

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 第31回 平成14年7月 (山形県) | ロープ登はん・ロープブリッジ渡過 |
| 第32回 平成15年8月 (宮城県) | 斜めブリッジ救出・ロープ登はん |
| 第33回 平成16年7月 (秋田県) | 斜めブリッジ救出・ロープ登はん・ロープブリッジ渡過 |
| 第34回 平成17年7月 (宮城県) | ロープ登はん・ロープブリッジ渡過 |
| 第35回 平成18年7月 (福島県) | ロープブリッジ救出 |
| 第36回 平成19年7月 (宮城県) | 新潟中越地震のため中止 |
| 第37回 平成20年7月 (青森県) | 岩手県沿岸北部地震のため中止 |
| 第38回 平成21年7月 (宮城県) | ロープブリッジ救出・引揚救助 |
| 第39回 平成22年7月 (岩手県) | 引揚救助・障害突破 |
| 第40回 平成23年7月 (宮城県) | 東日本大震災のため中止 |
| 第41回 平成24年7月 (山形県) | ロープブリッジ救出 |
| 第42回 平成25年7月 (宮城県) | ロープブリッジ救出・引揚救助 |
| 第43回 平成26年7月 (秋田県) | ロープブリッジ救出・引揚救助 |
| 第44回 平成27年7月 (福島県) | ロープブリッジ救出・引揚救助 |
| 第45回 平成28年7月 (青森県) | 引揚救助 |
| 第46回 平成29年7月 (宮城県) | ロープブリッジ救出・引揚救助・障害突破 |
| 第47回 平成30年7月 (新潟県) | ロープブリッジ救出・引揚救助・障害突破 |
| 第48回 令和元年7月 (山形県) | ロープブリッジ救出・引揚救助・障害突破 |
| 第49回 令和2年7月 (青森県) | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施見送 |
| 第49回 令和3年7月 (宮城県) | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 |



■ 救急隊（救急業務）の沿革

- 昭和 8年 日本の消防機関で初となる救急自動車を神奈川県警察部横浜市山下町消防署に配備し救急業務が開始された
- 昭和42年 石巻市において救急業務開始
- 45年 消防自動車と同じサイレン音だった「ウー」音との識別や搬送中の傷病者や道路沿いの地域住民がうける騒音軽減のため、救急自動車専用「ピーポー」音電子サイレンへ変更された
- 46年 石巻地区広域行政事務組合として、消防本部を発足し、石巻消防署と石巻消防署女川分署において救急業務開始
- 48年 矢本消防署において救急業務開始
- 49年 石巻消防署河北分署と女川消防署牡鹿出張所において救急業務開始
- 53年 消防庁告示「救急隊員の行う応急処置等の基準」（以下「応急処置基準」という）が示され、比較的簡単な応急処置（酸素投与、止血、被服、固定）が救急業務とされた
- 61年 消防法の改正により、応急処置が法律上の救急業務行為となった
- 平成 3年 救急救命士法が制定され、救急救命士の国家資格が誕生
応急処置基準が改正され、「血圧計、聴診器、心電図の使用等（9項目）」ができるようになった
- 4年 石巻消防署中央分署において救急業務開始
- 5年 当消防本部において1人目の救急救命士が誕生
- 7年 当本部において1台目の高規格救急自動車の運用が石巻消防署で開始された
- 14年 石巻地域メディカルコントロール協議会を設置した
- 15年 救急救命処置の範囲等について改正され、包括的指示による除細動の運用を開始した
石巻消防署渡波出張所と矢本消防署河南出張所において救急業務開始
- 16年 河北消防署桃生出張所及び同北上出張所、矢本消防署鳴瀬出張所、女川消防署雄勝出張所において救急業務開始
救急救命士の処置拡大により、「気管挿管」が認められた
非医療従事者（一般市民）による「AED」の使用が認められ、使用可能となった
- 19年 石巻消防署の開設と同時に、石巻消防署南分署において救急業務開始
救急救命士の処置拡大により、「薬剤（アドレナリン）」投与が可能となった
- 21年 救急救命士の処置拡大により、「エピペン」投与が可能となった
- 24年 救急救命士の処置拡大により、「血糖測定と低血糖発作患者へのブドウ糖溶液の投与、心肺機能停止前の静脈路確保と輸液の実施」が認められた
- 25年 消防隊等による救急活動支援（PA連携）が運用開始

石巻赤十字病院との協定締結により、石巻赤十字病院においてドクターカーの運用を開始

27年 石巻消防署西分署開設と同時に救急業務開始

28年 宮城県の救急医療体制を充実させるため、ドクターヘリの運航が開始された
石巻東消防署開設と同時に救急業務開始

31年 宮城県メディカルコントロール協議会から当消防本部で4名の指導救命士が認定された

令和 2年 救急救命士の処置拡大により、「ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管内チューブ」による気道確保が可能となった

3年 4月1日現在、救急車13台、救急救命士69名（実働54名）、指導救命士6名で救急業務を運用している

※ 国・関係機関等の動き

令和3年度消防本部救急訓練の様子



■ 消防車両の変遷

消防ポンプ自動車



昭和50年代



現在

化学消防ポンプ自動車



昭和50年代



現在

救助工作車



昭和50年代



現在

高規格救急車



昭和50年代



現在

はしご車 (スノーケル車)



昭和50年代



現在

東日本大震災後寄贈された車両

芦屋市消防本部から寄贈



救助工作車

台湾から寄贈



高規格救急車

台湾から寄贈



消防ポンプ自動車